

# お役立ち！？

東京頸髄損傷者連絡会 鴨治 慎吾

今回は、頸損でもやっているスポーツをピックアップしてみました。車いすという事で諦めたり、やってみたいけどどこに聞いたらいいかわからない…そんなことがあったりしませんか？意外と「そんなスポーツ、頸損がやっているの」なんてことがあったりします。

## ☆日本チェアスキー協会

日本チェアスキー協会は、一人でも多くの方がチェアスキーの醍醐味を味わえるよう、チェアスキーの普及を図ることを目的に、1980年に発足しました。現在は普及だけでなく、競技選手の育成、強化という競技団体としても活動を行っています。「初めてでも出来るのだろうか？」の心配は無用ですから気軽に問合せ下さい。

やってみたいけどチェアスキーがないという方、日本チェアスキー協会ではチェアスキーのレンタルを行っています。レンタルできるものは、チェアスキー普及型・脳性マヒ等の上肢障害を持つ人用のバイスキー・アウトリガーです。

毎年2月下旬～3月上旬に、未経験者・初心者から上級者・エキスパートまでを対象としたチェアスキー・バイスキーの講習会を行っています。



日本チェアスキー協会事務局

〒243-0037

神奈川県厚木市毛利台3-11-2

伊佐 方まで

FAX 046-247-0090

<http://www.chairski.jp/index.html>

## ☆日本電動車椅子サッカー協会

日本電動車椅子サッカー協会は、日本における電動車椅子サッカーの統括団体として1995年発足しました。国内を中心に日本選手権大会・ブロック選抜大会を開催しており、電動車椅子サッカー競技のサポート・普及をはかっております。

電動車椅子サッカーとは、電動車椅子の前にフットガードを取り付けて行うサッカーです。自立した歩行ができないなど比較的重度の障害を持った選手が多く、ジョイスティック型のコントローラーを手や顎などで操りプレーします。性別による区分はなく、男女混合のチームで行います。国際的な呼称は「Powerchair Football」となっており、スピードは時速10km以下と定められています。直径約32.5cmのボールを使用、繊細な操作で繰り広げられるパスやドリブル、回転シュートなど華麗かつ迫力あるプレーが魅力です。



日本電動車椅子サッカー協会 事務所

〒107-0062

東京都港区南青山2-5-17

ポーラ青山ビル 6F

(株式会社 ジェイワールド トラベル内)

電話番号: 03-3402-3600

<http://www.web-jpfa.jp/index.php>

## ☆JWRF 一般社団法人 日本ウィルチェアーラグビー連盟

1996年のアトランタパラリンピックにデモンストレーション競技として初登場し、2000年のシドニーパラリンピックからは公式種目になりました。日本ではアトランタパラリンピック後の1996年11月に正式に競技が紹介され、1997年4月に連盟が設立されました。そして、現在、競技の国内普及と、パラリンピックや世界選手権等の国際大会でのメダル獲得を目標に活動を行っています。

競技には、ラグビー、バスケットボール、バレーボール、アイスホッケー等の要素が組合せられており、バスケットボールと同じ広さのコートで行われます。車いすは、ハードな競技に耐え得る専用の車いすを使用します。車いすには、相手の車いすを止めるためのバンパーや、相手の車いすから逃れるためのウィングが取り付けられています。ボールは公式専用球（バレーボール5号球を基に開発されたもの）が使用され、パスまたはひざの上に置かれてゴールまで運ばれます。ルールの規定内であれば、あらゆる方向にパスすることが可能で、投げたり、打撃をしたり、転がしたりして運ぶことができます。ボールをひざの上に置いて運ぶ場合は、10秒以内に1回のドリブルを行わなければなりません。



一般社団法人 日本ウィルチェアーラグビー連盟  
東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル4階  
<http://jwrugby.com/>  
上記のHP上に問合せフォームがあります。

## ☆一般社団法人 日本ボッチャ協会

当法人は、日本国内の肢体不自由児者を中心とした障がいのある方のニーズに応じた競技力向上を目指すとともに、すべての障がいのある方及び関係者に対して、ボッチャの振興と普及を図り、ボッチャを通じて障がいのある方の心身の健康及び生活力の向上に寄与することを目的とする。

ボッチャは、ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。

ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。

障害によりボールを投げるができなくても、勾配具（ランプ）を使い、自分の意思を介助者に伝えることができれば参加できます。

競技は男女の区別のないクラスに別れて行われ、個人戦と団体戦（2対2のペア戦と3対3のチーム戦）があります。



一般社団法人日本ボッチャ協会 東京事務所  
〒107-0052  
東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル4階  
公益財団法人日本財団パラリンピックサポートセンター内  
TEL 080-1478-7090  
FAX 03-6229-5420  
[jimukyoku@japan-boccia.net](mailto:jimukyoku@japan-boccia.net)